

「紅白梅」 早春に薫る紅白の梅を墨彩画で描きました。墨彩画ならではの、にじみやかすれを、綴織の繊細な技法で、晴れの日にふさわしい上品な帯に仕上げました。

「不二の雪」(織り額) 世界遺産に認定された富士山を、黄金に光る雲海とともに織りあげました。何色もの柰糸という混合色により、やわらかい情景に仕上げました。

「ひょうたん雀」 おめでたいひょうたんに、愛らしい子すずめを墨彩画で描きました。綴織ならではの絵画的表現で濃淡を織り込み、季節を問わない帯に仕上げました。



中尾 友美

1995年大阪芸術大学美術部美術科卒業。同年石川つづれ株式会社に入社、爪搔き本つづれ織の職人として修業を始める。1998年つづれ織大会にて京都府知事賞等を受賞。2008年「伝統工芸士」(西陣織、製織部門)認定。2011年「京もの認定工芸士」認定。

〒602-8216
京都市上京区堀川通今出川南入ル 西陣織会館
Eメール bitcub6@gmail.com

織りひとすじの技が冴える

絵心に満ちたつづれ帯

大学で絵画を学び、卒業後、西陣織の爪搔綴織の職人として手織り一筋で、生地の方合いと絵画的表現の向上に日々努めています。主に綴帯や織額の受注制作をしています。お客様のご希望をお聞きしてから、下絵を元に図案を描き、他にはない一点物の織物を手がけております。

◆京もの認定工芸士とは…

京都の伝統工芸品(京もの)の製造に従事し、特に優れた技術をもった意欲ある若手職人に京都府知事から授与される称号。



京もの認定工芸士 第59号

なかお 友美
中尾 友美

